

○よくあるご質問○

Q. 自社の会議室で訓練を受講することは
できますか？

A. 可能です。ご要望に応じて、自社会議室等
で訓練を実施しております。
また、生産性向上支援訓練を実施するにあ
たり、ポリテクセンターの教室を利用する
ことも可能です。
ただし、空きがある場合に限りです。

Q. 個人受講（事業主からの指示を受けない
受講）は可能ですか？

A. 個人受講はできません。

Q. 受講料はどのように支払いますか？

A. 受講申込書を受付後、ポリテクセンター北海
道の生産性センターより 振込口座をご案内
しますので、所定の期日までに受講料をお振
り込みください。
(振込手数料はご負担ください。)

Q. 訓練時間に対応した受講料はいくらで
すか？

A. 「IT業務改善」分野以外の受講料は
1人あたり、
6～11時間コースで3,300円（税込）
12～18時間コースで5,500円（税込）
19～30時間コースで6,600円（税込）
となります。

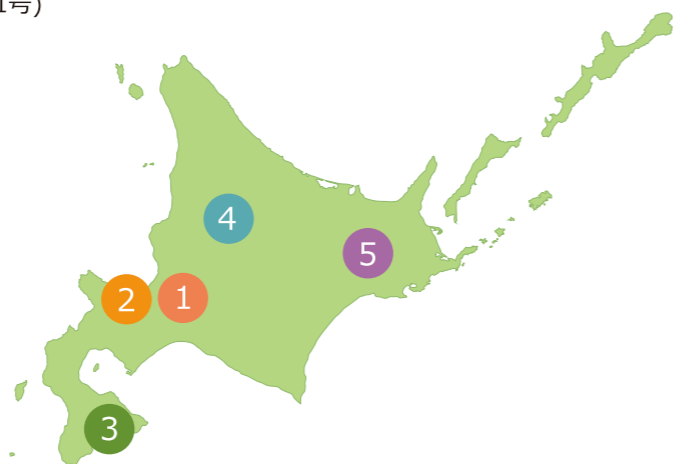
「IT業務改善」分野の受講料は1人あたり、
4～11時間コースで2,200円（税込）
12～17時間コースで3,300円（税込）
18～30時間コースで4,400円（税込）
となります。

※受講料は、ポリテクセンター北海道の
生産性センターにお支払いいただきます。

<お問い合わせ先>

【生産性向上人材育成支援センター】

- 1 北海道職業能力開発促進センター
(ポリテクセンター北海道)
(〒063-0804 札幌市西区二十四軒4条1丁目4番1号)
TEL : 011-640-8828 FAX : 011-640-8958
- 2 北海道職業能力開発大学校
(北海道ポリテクカレッジ)
(〒047-0292 小樽市銭函3丁目190番地)
TEL : 0134-62-3551 FAX : 0134-62-2154
- 3 函館訓練センター
(ポリテクセンター函館)
(〒041-0841 函館市日吉町3丁目23番1号)
TEL : 0138-52-0323 FAX : 0138-52-0324
- 4 旭川訓練センター
(ポリテクセンター旭川)
(〒079-8418 旭川市永山8条20丁目3番1号)
TEL : 0166-48-2327 FAX : 0166-48-2476
- 5 釧路訓練センター
(ポリテクセンター釧路)
(〒084-0915 釧路市大楽毛南4丁目5番57号)
TEL : 0154-57-5938 FAX : 0154-57-8130



この事業は、北海道庁、北海道労働局、当機構の三者で締結した
北海道労働政策協定に基づき実施するものです。

(2021.03)

生産性向上支援訓練の

ご案内

全国実績（累計）
※'17～'20.9月末まで

97.9%

受講評価
(業務への役立ち度)



4つの嬉しいポイント！

01

受講しやすい料金設定！
(2,200～6,600円（税込）/人)

※人材開発支援助成金の利用も
可能（条件を満たす場合）



02

自社の事情や社員の能力に
合わせてカリキュラム設定！

※社内研修プログラム内に
組込むことも可能



03

自社の会議室で受講可能！
プロの講師がやってくる！



04

訓練コースの
ステップアップや
繰り返し設定が可能！

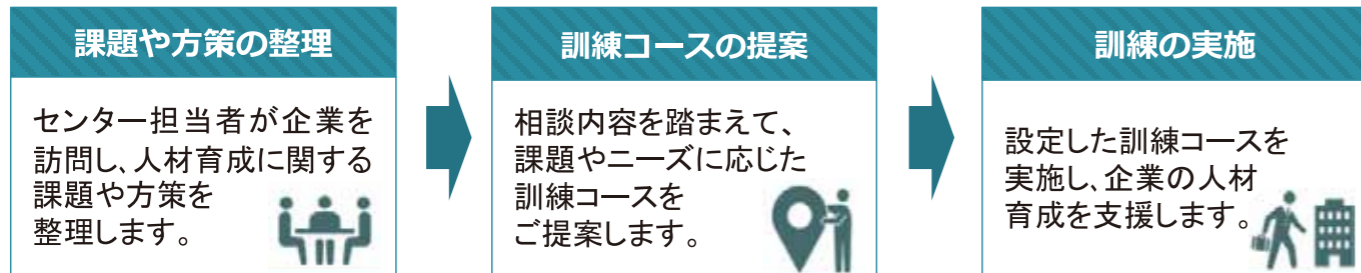


独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers

はたらく皆様の働き方の新しい発想や業務改善の取組を全力で応援します！

生産性向上支援訓練とは、企業が生産性を向上させるために必要な知識などを習得する職業訓練です。全国のポリテクセンター等に設置した生産性向上人材育成支援センターが、専門的知見を有する民間機関等と連携して、企業が抱える課題や人材育成ニーズに対応した訓練を実施します。

訓練受講までの流れ



主な訓練分野・目的

生産・業務プロセスの改善

工程管理のポイントや見直し及び改善を行う際の課題とその解決方法など、生産管理や生産現場の業務プロセスの改善に必要な知識や手法の習得を主な目的としています。

- ・生産性や品質管理について学びたい！
- ・業務プロセスを改善して効率性を高めたい！
- ・RPA等の新技術を学びたい！ 等々



横断的課題

業務の効率化や改善、70歳以上の就業機会の確保に向けて中高年齢者の役割の変化への対応やノウハウ継承に必要な知識や手法の習得を主な目的としています。

- ・従業員の仕事の効率化を促進したい！
- ・中堅・ベテラン従業員の持つ技術やノウハウを継承させたい！ 等々



売上げ増加

マーケティングや広報戦略、新商品の企画・開発やサービスの高付加価値化の実現に必要な知識や手法の習得を主な目的としています。

- ・顧客の拡大や満足度の向上を図りたい！
- ・マーケティングや戦略について学びたい！
- ・新しい企画や開発について学びたい！ 等々



IT業務改善

ネットワーク、データ活用、情報発信、情報倫理・セキュリティに関する知識や手法の習得を主な目的としています。

- ・データ処理の作業を効率化したい！
- ・データを業務改善に活用したい！
- ・集客につながるホームページを作成したい！ 等々



活用事例紹介

伊藤組土建株式会社 様

利用コース情報

コース名：①表計算ソフトの業務活用
②ネット炎上とSNSの危険性
訓練時間：①6時間（2日×3時間）②3時間
受講者数：延べ36名

人材育成担当者の声

当社は、1893年創業の総合建設会社で、人材育成等に関しては、これまで技術力向上のための社内研修や作業所事例発表会、プロジェクトチームによる課題検討などを中心に取り組んできましたが、近年ではパソコン操作に不慣れな新入社員が多く、これら新人に対し実務に即応できるパソコンスキルを早期に習得させたいという課題がありました。そのような中、ポリテクセンター北海道より訓練のご案内を受け、今回の利用につながりました。

今回の訓練で習得したスキルは、すでに現場の実務で活用されており、新入社員が入社後、すぐに一定のスキルを身につけることで、教える立場の先輩社員の負担を減らすことにもつながりました。ポリテクセンターの訓練は多様なコースが設定されているため、今後の利用も検討したいと思います。

株式会社いたがき 様

利用コース情報

コース名：①新サービス・商品開発の基本プロセス
②顧客分析手法
訓練時間：①6時間 ②6時間
受講者数：延べ24名

事業主の声

1982年の創業以来、「末永く使えて愛着のもてる『鞆』を皆様にご提供したい」という一つの想いから、タンニンなめしの革にこだわり続ける革製品の企画・製造・販売の会社で、今まで社員の感性や能力を引出しきれないことや、業務へ結びつける活用方法等に課題を感じており、各種セミナーへ参加してきましたが、具体的な効果を見出すことができませんでした。そのような中、ポリテクセンターから生産性向上を目的とした訓練の提案を受けました。

訓練を通じて企画・製造・販売部門が部署を超えて、共通認識や共通言語を持つことができ、新たな気づきや課題発見が生まれ、組織力の大きなパワーアップにつながったこと、各部門の業務プロセスの進め方に革新がもたらされたこと等を感じています。今後は、全社員が実践を通じて更なるステップアップができるよう期待しているところです。

ポイント

- ①は「業務に役立つ表計算ソフトの関数の活用」コースの一部を組み込んだ内容に、
- ②は「建設現場のセキュリティガイドライン」を網羅した内容にカスタマイズ！

受講者の声

訓練では会社業務で使用するような範囲を丁寧に指導していただき、いかに自分が効率の悪い方法でパソコンを使用していたのかを痛感しました。また、訓練を通して、シートの使用法やグラフの作成等、表計算ソフトの利用の幅が広がり資料作成に自信ができました。

現在、テレワーク時での資料作成や議事録の作成などで表計算ソフトを使用する機会が多く、訓練で習得したスキルが役立ち、受講してよかったと強く感じています。配属は営業部で契約管理を担当していますが、資料作りは時間との勝負になるため、表計算ソフトなどのテクニックをもっと学び、時間短縮に努めるのが今の課題です。今後さらに業務の効率を上げ、会社の利益に貢献できるよう日々精進していきます。



ポイント

- ①は生産現場の見学や経営理念等を通じ、商品開発プロセスを考え直し、
- ②は保有する顧客データ（サマリー版）を共有し、分析・活用方法に役立てた内容にカスタマイズ！

受講者の声

以前より部門間のコミュニケーション不足を感じていましたが、グループワークでのブレインストーミングにおいて、活発な意見交換ができ、知識レベルの向上が図れたとともにものの見方・考え方に大きな影響を受けました。自己流でやってきたことも、具体的に整理ができ、今では自信をもって業務に取り組んでいます。全社的に部門間の連携が生まれ、ひとつのチームとして企画立案できる基盤が形成されたと実感しています。加えて課題の発見・解決に向けてチームリーダーによる社内プレゼンも行われるようになりました。

また、今後の顧客データのあるべき姿、活用の重要性が明確になりつつあり、ロイヤルカスタマーの拡大を目指してマーケティングに活かそうと考えています。



※予算に限りがありますので、ご希望に添えない場合があります。
※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。
※当訓練受講に係る人材開発支援助成金の支給申請をしている場合、訓練受講後のOFF-JT実施状況報告書の受講証明は、ポリテクセンター北海道のみで行います。（北海道内の他のポリテクセンター及び北海道ポリテクカレッジでは受講証明はできませんので、ご注意願います。）